

未来を拓く科学大好き教育 通信

郷土博物館 特別研究員 指導課 特別指導員
岩波 英一

「理科室のおじさん」を訪ねて

その18 日立市立成沢小学校



日立理科クラブ
坂田 賢さん

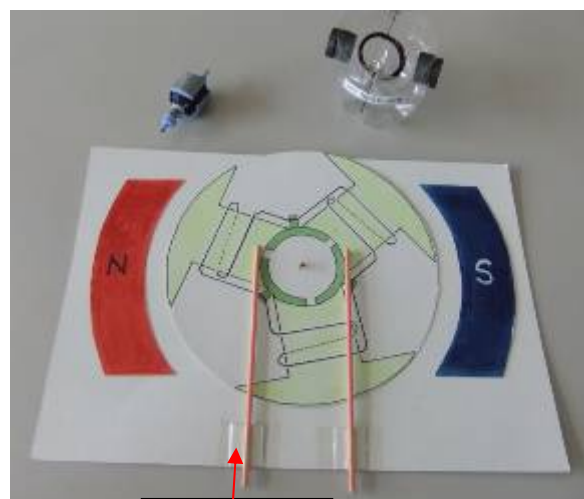
日立理科クラブ「理科室のおじさん」、坂田賢さんを訪ねました。坂田さんは、日立理科クラブの発足当初から参加し、成沢小学校も4年目になります。鳥取県気高町(現在は鳥取市に合併、近くには「因幡の白ウサギ」発祥の地が存在)出身で、漁業と農業に従事していた町だったそうです。「子どものころは海が近かったため、夏は毎日のように水中メガネを付けて海に潜り、魚をたくさん獲りました。海産物が豊富に獲れたため、終戦後の物が無い時代でも、食べることにあまり苦労しませんでしたよ。」と、当時を振り返っていました。「春は、イワシ・トビウオ、夏になるとシイラ・スルメイカなど

がたくさん獲れ、特にトビウオの竹輪は絶品ですよ。」と、気高町の名産をあげていました。工業高校の電気科に進み、日製の山手工場に就職し、モーターや発電機(小型)の性能試験に従事し、やがて海岸工場に移って大型機械の性能検査、その後原子力発電所の機器や装置の調整、現地での試験・試運転を中心に従事してきました。20代の頃は、都市対抗野球の応援団に所属し、日製野球部と一緒に大会に参加し、熱戦に華を咲かせていたようです。また、大阪万博や筑波万博に、坂田さんが所属していた部署が担当になって、リニアモーターカーの模型や二足歩行のロボットを製作し、政府館に展示したということです。

「特に、筑波万博では、半年間会場に待機し、展示ロボットのメンテナンス等をおこないました。」と、万博当時の華やかさを思い出しながら話してくれました。

「理科室のおじさん」坂田さんは、電気関係の単元を中心に、教具の作成をしたり、授業にも支援者として参加したりと、積極的に活動しています。「担任や担当の先生から要望を受け、手作り教材一覧を作成して要望に答えるようにしています。」と、手作り教材一覧を見せていただきましたが、授業に役立つ教具がたくさん載っていました。とても素晴らしいことです。今、成沢小学校では、理科の教科担任制を実施しています。担当と理科室のおじさんの連携がうまく機能し、授業の効率よい展開がなされています。

坂田さんは、10年くらい前から写真に興味を示し、「常陸写真塾」に所属して、毎年展覧会を開催しているとのことでした。風景写真を中心に海外・国内と幅広く出かけたそうです。「スペインで撮った風車、ドイツの古城など印象に残る作品です。」と、写真の撮影秘話など奥深い一面を伺うことができました。写真を生かした教材等、成沢小での今後の活躍を期待しています。



手作りの教具



— 問い合わせ先 —

TEL 0294(23)3231 FAX 0294(23)3230
IP 電話 050(5528)4928 内線電話 8954
E-mail:hakubutsukan1@city.hitachi.lg.jp
日立市郷土博物館 岩波 英一